

顛末書

名 称	第2回中野市北部地区小学校統合準備委員会
日 時	平成29年9月20日(水) 午後6時30分～午後7時30分
会 場	北部公民館1階会議室
出席者	<p>・出席委員 38名 委員長(総務部会長) 下川昌平 職務代理(通学・安全部会長) 池田信一 地域・PTA部会長 江口明男 教育部会長 花形多美子</p> <p>委 員 小林和夫、新井寛隆、武田金一、武田浩明、上野恵佐夫、河野文隆、 荻原伸一、丸山絵美子、山形哲也、小島茂、舘田淳、青木修、 上野広樹、塚田秀人、田尻徹、小林謙二、吉家一雄、田中功、 小林浩美、武居和紀、宇田和彦、大澤幸、原沢あけみ、小林妙子、 宮澤俊樹、武田利彦、長張むつ美、鈴木紀代子、須藤賢司、山崎麻希、 岩下定秀、佐藤嘉男、宮澤和三、松井真由美</p> <p>事務局職員 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、鈴木学校教育係長、 久保施設係長、田中副主幹、佐々木主任技師、池田指導主事</p>
次 第	<p>1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 (1) 総務部会の報告について (2) 通学・安全部会の報告について (3) 地域・PTA部会の報告について (4) 教育部会の報告について (5) 今後のスケジュール等について →教育委員会への報告、校名の決定、予算措置について事務局から説明。</p> <p>4 その他 5 閉 会</p>
主な質問・意見等	<p><総務部会関係> ●駐車場が少ないとの意見がある中、台数はどのくらいになるか。 →91台程度を予定した。現在も、必要な場合には、周辺施設を活用している。 今後も、十分その方法で対応できると考えている。</p> <p>●共同作業所の用地を活用してはどうか。</p> <p>●タブレットの導入の説明があったが、2学級分ではなく、3学級分要望してほしい。</p> <p><通学・安全関係> ●科野地区で越区は徒歩、深沢区はバス通学となるが、なぜ、そうなるのか。越の児童もバスで通学できないか。 →市道平岡10号線の安全確保ができないためである。今後、歩道設置について、区長会等と連携し、要望活動をしていく。</p> <p>●放課後の児童の居場所について考慮しているのか。 →これまでの議論の中では、特に考慮していない。子育て課と連携し、今後の検討課題としていく。</p> <p><その他> ●放課後の居場所も関係部局の職員を呼んで、横断的な検討・対応をお願いしたい。</p> <p>●コミュニティスクールの今後の考え方も説明、調整・検討して行ってほしい。</p>

今回のまとめ
と次回検討事
項

- 校名は『中野市立高社小学校（こうしゃ しょうがっこう）』とした。
- 通学方法は、
 - 【長丘小学校区（大字田麦、大字厚貝、大字壁田）】
バスによる通学とする。乗降するバス停は、長丘小学校前及び古牧入口付近とする。ただし、市道若宮田麦線の歩道設置後は、改めて通学方法を検討することとする。
 - 【平岡小学校区（大字新井、大字若宮、大字竹原、大字金井、大字間長瀬、大字笠原）】
徒歩通学とする。
 - 【科野小学校区（大字赤岩、大字越、大字深沢）】
大字赤岩及び大字深沢の児童は、バスによる通学とする。乗降するバス停は、北部公民館前及びJA中野市科野事業所付近とする。大字越の児童は、徒歩通学とする。ただし、市道平岡10号線の歩道設置後は、改めて通学方法を検討することとする。
 - 【倭小学校区（大字柳沢、大字田上、大字岩井）】
バスによる通学とする。乗降するバス停は、旧倭保育園、倭小学校及び柳沢共撰所付近とする。
- ※個別の事案は、個々に学校長と教育委員会が協議のうえ決定することとする。
- 学校施設整備については、機能面と安全面を中心に検討した結果、普通教室の不足、トイレ数の不足、駐車場不足、子どもの遊び場確保、遠足時等のバス及びスクールバス等の乗り入れ、会議室・教材室・倉庫の不足、職員室・更衣室等の狭隘等の課題解消を図る。
- PTA組織については次のスケジュール案のとおり進めていくこととした。
 - H29 4校PTA役員会（会則の確認、課題の確認、スケジュール等）
 - H30～31 統合小学校PTA設立準備会（会則案等）
 - H32 開校・PTA設立総会